

「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-075号 2016年3月15日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

最低賃金の抜本的引き上げを！

渋谷区労連・CU渋谷支部が賃金実態調査のとりくみ



春闘まっただ中、最低賃金の実態調査にとりくむCU渋谷支部の組合員



CU東京の出番です ≪雇用の劣化に歯止めがかかりません。実質賃金が

低下し、非正規労働者が増えつづけ、食事の回数を減らすなど絶対的貧困層が増えています。消費税増税による個人消費が落ち込み、日本経済の停滞がつづいています。春闘で大企業の内部留保を活用した賃上げ、最低賃金の抜本的引き上げが求められています。CU東京の出番です。CU渋谷支部の取り組みを紹介します≫

渋谷区労連・CU渋谷支部は、2月27日、人間らしく働きたい…「渋谷集会」実行委員会による賃金実態調査を渋谷駅前モヤイ像前で行ない15人が参加しました。ラップの軽快なリズムで最賃引上げや実態調査への協力を訴え、19件の聞き取り、約400個の組合案内チラシ入りポケットティッシュを配布しました。

約半数が最低賃金を知らない ラップのリズムで♪最低／賃金／知っていますか(中略)♪東京で／やっと／907／円♪などと訴えると、通行人が注目。若いカップルも立ち止まり、すかさず実態調査で声をかけました。モヤイ像前にいる人にも呼びかけました。若い人はラップのコールがいいと。調査アンケート19件の約半数が最低賃金を知らないといい、時給1000円以下は3人。中には、3000円という人や月収は30～40万円の人もいましたが、就業時間が少なかったり、逆に1日16時間と超長かったり。生活できているという人も半数です。

コミュニティユニオン 東京 第8回定期大会

【とき】 6月11日(土)
午後1時30分開会

【ところ】ラパスホール
(東京労働会館7階)

「いい仕事が欲しい」「CUの共済がいい」 年配の男性や女性は、年金が少なくアルバイトで働かないと生活できない。いい仕事が欲しいと。CUのチラシを見て「共済がいい」と。実態調査は5項目ですが聞き取りの中で、1000円以下は少ないものの、厳しい実態が見えてきました。次回は3月26日です。渋谷区労連・CU東京渋谷は今年の春闘を戦争法廃止、社会的賃金闘争としての最低賃金引上げなどを柱として、運動を展開しています。200万署名推進により一層の取り組みを強めています。

CU渋谷支部は6月に定期大会を開きます。150人支部をめざし春闘と結び組合員拡大にも奮闘しています。

【第一興商事件】組合の粘り強い取り組みで 関川貴幸さんが勝ち取った労災認定！！

地域労組 こうとう 松井優希

[第一興商事件で組合の粘り強い取り組みで関川貴幸さんの労災認定を勝ち取った活動を松井優希さんに寄せていただきました。]

【労働相談に至った経過】

2013年8月「台東第一興商（カラオケ・ビッグエコーの経営主体）」勤務の関川貴幸さんが上司からのハラスメント（キャバクラ通いの強要や暴言）、長時間労働を強いられ体調を崩して休職に追い込まれ、この状況をなんとかしたいと地域労組こうとうに相談に来られ加入しました。

【地域労組こうとうとしての取り組み】

2013年12月法律事務所とも相談の上、団体交渉申入れ。2014年1月、第1回目の団体交渉が行われました。団交では、会社側はハラスメントについてははまともな回答をせず、長時間労働について



第一興商（ビッグエコー）上野駅前店前宣伝行動

も、「不当な要求に基づく残業は確認できていない」と回答し、残業を証明する資料の請求を求めてきました。

14年3月東京地方裁判所へ提訴（未払い残業代の請求とパワハラによる損害賠償請求）、4月台東第一興商本社前でのビラまき（14名参加）、6月復職に関わる団交（厚労省の復職プログラムに沿った復職）申入れ（2回）。7月第2回団交。その後4回にわたる文書での申入れと会社側からの回答。8月足立労基署への労災相談。

2015年3月労災申請。6月第3回団交、会社側が3月にハラスメント防止規定を作成したことが明らかになる。8月関川貴幸さん復職。

【信頼が勝ち取った労災認定】

2015年11月元上司による関川さんに有利な証言が決め手となり労災認定がされる。

【中間報告 ～裁判での勝利に向けて～】

組合としては、関川さんの病気が労災認定されたことは今後の裁判闘争を続ける上でも大きな前進だと考えています。同時に、関川さんが復職できたことは、同様の争議を抱える仲間にとって勇気づけられることでもあります。また、関川さんの労災認定は、元上司との信頼関係によって勝ち得たものと言っても過言ではありません。関川さんは「『会社がブラック企業になってほしくない』と裁判を起した。そのために闘っている。」と語ります。組合としてはこれからも粘り強く闘っていきたいと考えています。

【こうとう】の元気の源

組合員交流会兼執行委員会

3月10日（木）地域労組の事務所（兼区労連事務所）を訪ねました。（江東教育会館の3階）

19時開始にはまだ4、5人チラホラでしたが、すぐに10人を超え、若干遅れ開会。まずミニ学習、先の戦争の東京大空襲について、10日はその当日、質問・発言も活発。議題に、経過報告、分会の状況、労働相談の報告、当面のとりくみ、先に行った支部の国会見学会は15人の参加で好評の報告。現勢221人。

その後、組合員交流会、何と云っても、争議をたたかっている青木さんが気合いを入れた、一日かけ仕込み、準備した寸胴鍋いっぱいの煮込み、オードブル風サラダで歓迎。そして、全員の発言・報告、「紹介されて仕事についた」「ここに来ると癒される」。この日も最後には19人の参加に。元気を頂きました。（本部 高木）



耳を疑う地域の労働者の働き方

三多摩協議会の活動に参加して

三多摩協議会副委員長 尼崎学

三多摩協議会との出会いは昨年、偶然

私は、40年にわたって、自治体の労働運動に関わってきました。職員組合の活動とともに、市役所と関連の団体で働く非正規職員の雇用や待遇問題にとりくんできました。地域の方から職場の労働問題で相談できるところが身近にあったらという話を聞き、企業や業種の枠を越え、誰でも入れる地域の労働組合をつくろうと昨年はじめから「模索」をはじめました。地域労組はゼロからのスタートになるため、まったく未踏の分野に足を踏み入れることとなります。「これはこまったことになった」という時に、たまたま、三多摩協議会の結成の準備を聞き、勉強のため参加させていただくことにしました。



東日本復興支援に、陸前高田での一枚。前列右から二人目が尼崎さん

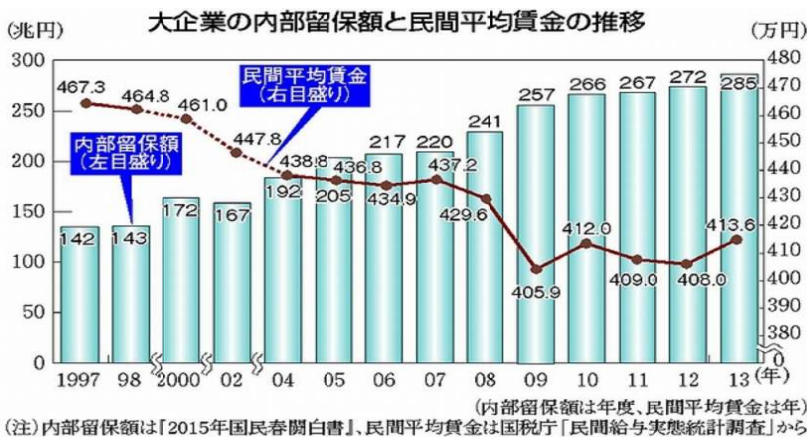
地域の労働者の働き方に耳を疑いました

労働相談にかかわり、地域の労働者の働き方に耳を疑いました。最低賃金ぎりぎりの低賃金、長時間労働、年休なし、残業代未払い、日常的なパワハラ、退職金なし、社会保険なしなど、法律はどこへ言ってしまったのかという働かせ方が当たり前になっています。背景には法律に無知とともに零細経営の厳しい実態があります。圧倒的多数の労働者は労働組合と無縁です。ブラック企業、ブラックバイト根絶の社会的な声は、地域の労働者には届いていません。

三多摩協議会は、生まれたばかりの組合ですが、進む道は、広大で未開拓です。不当な扱いを受けて一人で悩んだり、泣き寝入りをする労働者をなくすために、解決は、地域に支えられた労働組合にあると確信しています。

CU三多摩協議会の労働相談を一部を紹介

- MI女性(60歳)・アニメ会社の雇い止め相談
事業主との話し合いを行う。その後、社長が弁護士に依頼したため弁護士2名との団体交渉、依頼者の意向を踏まえ金銭解決。
- IK男性(30代)・蕎麦店従業員の賃金切下げ相談・・・事業主交渉を実施、組合側の意見を尊重して撤回、雇用維持で円満解決。
- MI女性(40代)・社会保険の加入問題等・・・東京土建の支部の協力を得て、社保加入で解決。
- KK男性(30代)・建設業元下契約トラブル・・・東京土建の組合員であったので、東京土建の協力で、話し合い解決。



大企業はボロもうけを 中小企業・労働者にまわせ

アベノミクスで大企業の内部留保は300兆円を超えるため込みをしています。労働者は実質賃金が下がり、不安定な雇用が増え続けています。

働く人の賃上げ・底上げと雇用の安定こそ景気回復の近道です。春闘で賃金引き上げて、暮らしを改善しましょう。

東京地評と懇談 労働組合・民主団体・NPO等との懇談その2

「地域労組の役割がますます重要になっている」・・・松森事務局長

CU東京はこの間、CU東京の役割、労働組合の必要性について説明、懇談の場をつくり話し合いを進めることにしました。東京地評、東京土建はじめ、日程調整しすすめていくことにしています。支援、協力いただいている労働組合には、CU東京の到達と当面の活動などを報告し、懇談をすすめます。今回は、民主団体、NPO組織などとも懇談を計画しています。働く人の雇用の劣化が止まりません。雇用や労働条件の悩み・相談はさまざまなところで出されています。その点からも重視しています。

2月18日11時より、東京地方労働組合評議会との懇談を行いました。東京地評からは松森事務局長、菊地組織局長、CU東京からは平山副委員長が出席。平山からCU東京の組織の到達点や活動状況、この間の活動で定式化されたCU東京の地域における役割、労働組合との関係、中小企業や民主団体との関係などを報告し、懇談が行われました。東京地評から、地域労組の役割がますます重要になっていること、CU東京の活動を広げていきたい等が発言されました。



左が松森事務局長、右が菊地組織局長

CU東京の 共済に助けられました

CUかつしか支部 立沢和樹

「CUかつしか支部の立沢さんが共済給付を受け支部に寄せた寄せた声を紹介します」

入院見舞金ありがとうございました。CU東京は前から岡野さんからずっと誘われていたのですが、昨年7月ようやく加入を決めました。全国の働く仲間の力添えになればと思っていましたが、CU東京の共済の葛飾の給付第1号と聞いてびっくりです。私には40歳近くになる甥がいます。研究畑にいたのを辞め、1年半近く就職活動をしていたのですが、採用がなく、やむを得ず派遣会社に登録しました。3ヶ月更新では安定して生活できないと訴えています。結婚して子供がいるのです。これで「一億総活躍」と安倍政権はいいますが、言うこととやるのが逆で、「一億総破滅」の道を進んでいるように見えます。安定した生活が保障される日本にすることが政治のやるべき仕事ではないかと思

ます。またお世話になるとは思いますが、みなさまも健康に気をつけつつ、CU東京の入院見舞金のような優れた制度を増やして安心して生活ができるようにと願います。



【CU東京は自主共済の入院共済以外に、全労連共済を組合員に案内しています。全員加盟している交通災害共済はじめ、火災共済・自動車共済などを案内、安い掛金と保障充実がお勧めです。】

■ 3月中中旬。桜の開花予報が出ています。例年よりも1週間近く早いとか。支部の花見の日程も渋谷は2月のニュース、三多摩からはチラシが届きました。大いに鋭気を養いましょう。■2月の執行委員会で今年は参議院選挙が7月にあり、組合の大会を6月11日にしました。いよいよ春の組織拡大月間です。すべての支部で新しい仲間を迎え、1000人の組合を実現し大会を開きましょう。